

令和3年11月16日

国際会計基準審議会 御中

一般社団法人全国銀行協会

国際会計基準審議会による公開草案「経営者による説明」に対する意見

全国銀行協会¹として、貴審議会（IASB）による公開草案「経営者による説明」に対してコメントする機会を与えられたことに感謝の意を表したい。

我々の以下の意見は、作成者としての視点からの意見となっているが、IASBにおけるさらなる検討に当たっての一助となることを期待している。

質問事項への回答

質問 11 — 完全性、バランス、正確性及び他の属性

(a) 第13章は、経営者による説明における情報が、完全でバランスの取れた正確なものであることを要求することを提案しており、当該情報をより有用にする可能性のある他の属性について論じている。第13章はまた、経営者による説明における情報が所要の属性を有することを確保するのに経営者が役立てるためのガイダンスも提案している。

BC97項からBC102項及びBC114項からBC116項は、これらの提案についての当審議会の理由付けを説明している。

これらの提案に同意するか。賛成又は反対の理由は何か。反対の場合、その代わりにどのようなことを提案するか、また、その理由は何か。

(コメント)

経営者による説明における情報は『概念フレームワーク』で示している有用な財務情報の属性を有しているべきであるという2010年実務記述書の要求を維持することに反対する。

(理由等)

BC98項 (b) において指摘されているとおり、経営者による説明における情報は、財務諸表における情報よりも幅が広く、財務諸表よりも多くの定性的情

¹ 全国銀行協会は、日本国内で活動する銀行および銀行持株会社を会員とする組織であり、日本の銀行界を代表する団体である。

報や将来予測的情報を含んでおり、財務諸表における認識を生じさせず開示させ生じさせない事項に関する情報を提供する可能性が高い。すなわち、経営者による説明における情報と財務諸表で提供される情報は、内容や目的等が大幅に異なるため、専ら財務諸表を想定して開発された「概念フレームワーク」と同様の質的特性を要求するのは適切ではないと考える。経営者による説明は、経営者がビジョンや見解等を述べるものであることを踏まえると、特に「完全性」、「バランス」、「比較可能性」等の属性は、追加的なガイダンス等を示したとしても、経営者による説明と財務諸表における重要性に対する考え方の差や客観性確保等の観点から、これらの属性を充足することは困難と考える。

以 上